

「日本語教育の参照枠」の活用に向けた 情報提供



Japanese Language Education

令和6年2月
文化庁国語課

1. 「日本語教育の参照枠」を活用した地域日本語教育の事例
2. 地域日本語教育における文字(漢字)指導
3. 大規模試験に関する文化庁の方針

1. 「日本語教育の参照枠」を活用した地域日本語教育の事例
2. 地域日本語教育における文字(漢字)指導
3. 大規模試験に関する文化庁の方針

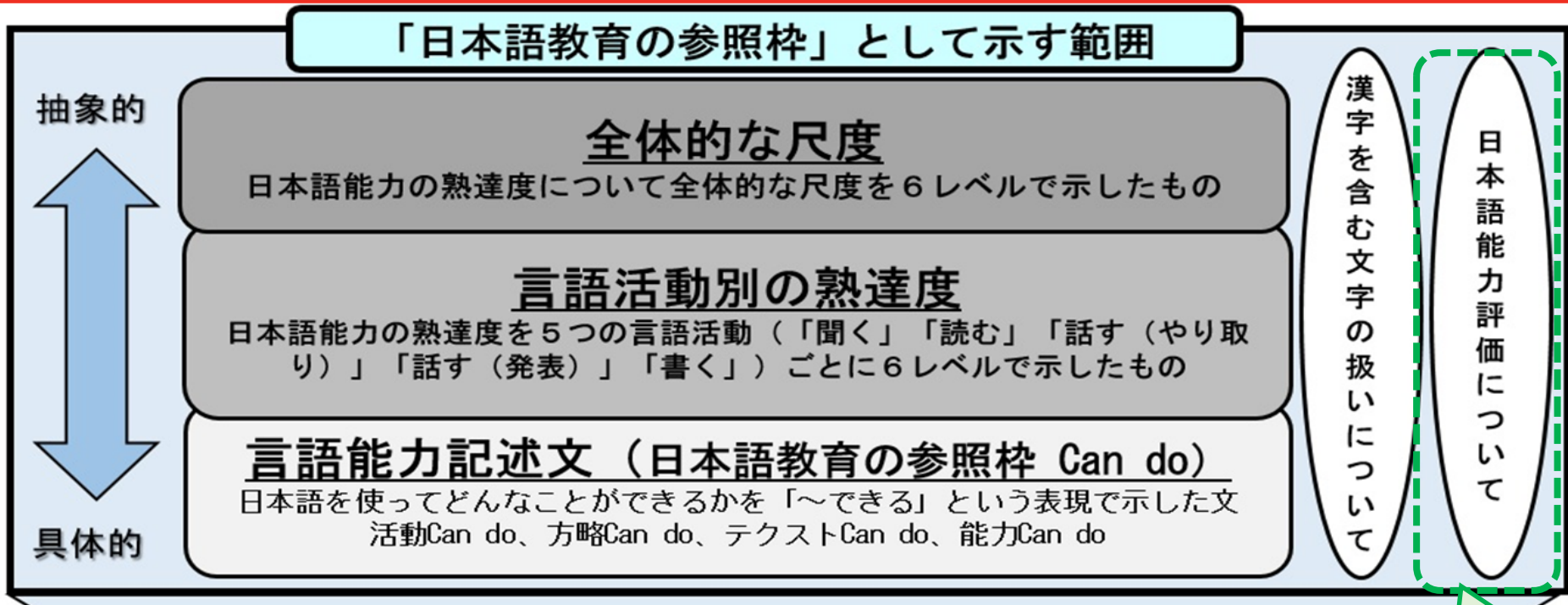
「日本語教育の参照枠」とは

CEFR(ヨーロッパ言語共通参照枠)を参考に、日本語の習得段階に応じて求められる日本語教育の内容・方法を明らかにし、外国人等が適切な日本語教育を継続的に受けられるようにするため、日本語教育に関わる全ての者が参照できる日本語学習、教授、評価のための枠組み。

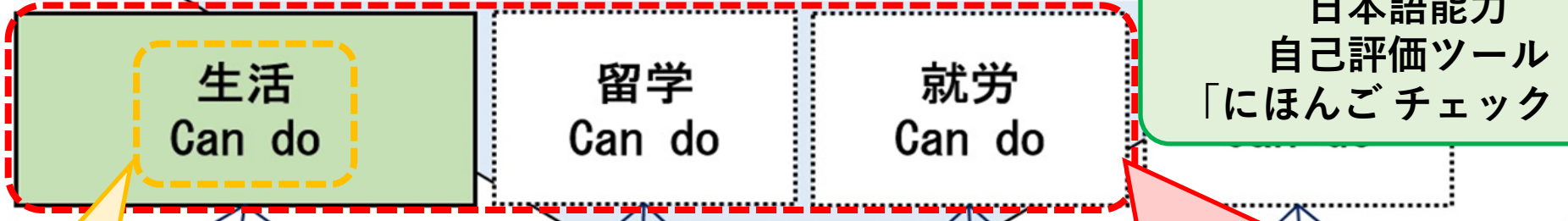
CEFRとは？

ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR: Common European Framework of Reference for Languages）は、欧州評議会によって20年以上にわたる研究と検証の末に開発され2001年に公開された。現在では40もの言語で翻訳されている。また、CEFRは言語資格を承認する根拠にもなるため、国境や言語の枠を越えて、教育や就労の流動性を促進することにも役立っている。

「日本語教育の参照枠」の構成



分野別の言語能力記述文（Can do）

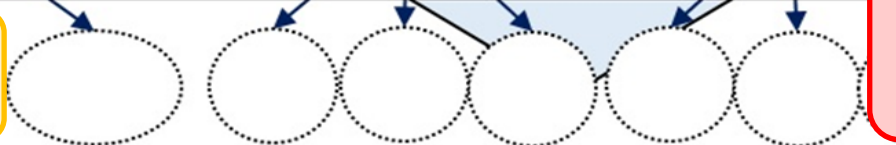


日本語能力自己評価ツール「にほんごチェック！」

「生活Can do」

「日本語教育の参照枠」の活用のための手引

現場 Can do : 個別の団体・教育機関等が自由に作成



第1章 「日本語教育の参照枠」とは？

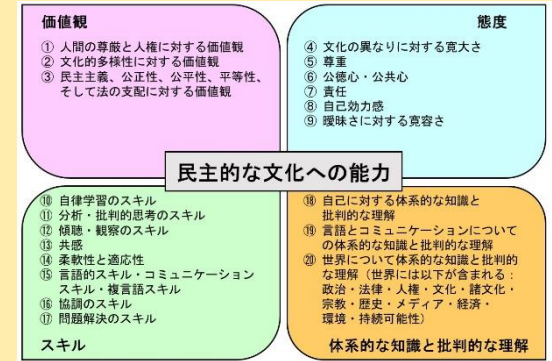
12のQ&A
4つのコラム

第2章 Can doをベースにしたカリキュラム開発の方法

1. コースデザインを行う上で重要になる視点（考え方）
2. コースデザインの概説
3. バックワード・デザイン
4. シラバスへのCan doの組み込み方

第3章 Can doをベースにしたカリキュラムの事例

1. 生活：地域日本語教育における県の事例
2. 留学：法務省告示日本語教育機関の事例
3. 就労：定住外国人に対する就職支援事業実施機関の事例



文化庁ウェブサイトですべて全文公開しています。

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hokoku/pdf/93705001_01.pdf

第3章 Can doをベースにしたカリキュラムの事例 1. 生活：地域日本語教育における県の事例



【自己評価の例】 [Lesson9] できましたか？

▶ できましたか？

ほしいもの、したいことについてはなすことができましたか。
 hoshii mono shitai koto nitsuite hanasu koto ga dekimashitaka
 欲しい物 話す

- ▶ Did you talk about what you want and what you want to do?
- ▶ 能说明想要什么，想做什么了吗？
- ▶ Você conseguiu falar sobre o que você quer e o que você quer fazer?
- ▶ Bạn đã có thể nói về những điều bạn muốn làm và những vật mà bạn muốn sở hữu chưa ?



【日本語パートナー】できましたか？

①やさしい日本語で話したり、聞いたりしましたか。



②学習者のほうがたくさん話すように心がけましたか。



③ウォームアップをしてから、Lesson 9 の学習に入りましたか。



第5課

やすみのひ、なにをしますか。

Yasumi no hi, nani o shimasu ka.

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1	2	3	4	5	6	7



Can-do①

自分の好きなことや、やすみの日の過ごし方、普段の生活について話したり、たずねたりすることができる。

- ▶ Can talk and ask questions about your favorite things, how you spend holidays, and about day-to-day living.
- ▶ 自己喜欢的事情，休息日怎样度过，关于日常生活，能说会问。
- ▶ Saber falar sobre o que gosta, como passa os dias de folga, conversar sobre seu cotidiano, etc. e fazer perguntas.
- ▶ Có thể nói, hỏi về những điều bản thân mình thích, cách trải qua ngày nghỉ, cuộc sống thường ngày.

Can-do②

週末の予定や週末に話をしたり、たずねたりすることができる。

- ▶ Can ask about weekend plans and what someone did on the weekend.
- ▶ 周末的预定，周末干什么了，能说会问。
- ▶ Saber falar e perguntar sobre planos do fim de semana e como passou o final de semana.
- ▶ Có thể nói, hỏi về dự định cuối tuần hay những việc đã làm cuối tuần.

公益財団法人 しまね国際センター (SIC)

島根県版オリジナル日本語教材 「いっしょににほんごしまねけん」

「いっしょににほんごしまねけん」は、SIC訪問日本語コースで使うことを想定して作成された島根県版オリジナル日本語教材です。

日本語を使った「日常的な生活」や「周りの人との交流」ができるようになることを目指しています。

各課は「知っていますか」「聞きましょう」「確認しましょう」「練習しましょう」「Can-doチェック」「セルフチェック」で構成されています。

豊富なイラストのほか、一部に、英語・中国語・ポルトガル語・ベトナム語の翻訳を併記しています。

課毎にPDFデータが閲覧、ダウンロードできます。

<https://www.sic-info.org/isshoni-shimane-jepv-dl/>

「日本語教育の参照枠」の活用のための手引

カリキュラムのサンプル (p.43)

表 10. 「いっしょに にほんご しまねけん」 (CEFR A1-A2 目標)

流れ		
1) Can do [学習目標確認] 2) 知っていますか [語彙確認] 3) 聞きましょう [表現理解]		
4) 確認しましょう [表現確認] 5) 練習しましょう [発話練習]		
6) Can do チェック [パフォーマンス課題] 7) セルフチェック [自己評価]		
※ 「読解」は「Can do」「知っていますか」「聞きましょう」「Can do チェック」の流れ。		
目標言語課題	学習言語項目	
1 課 挨拶	a) 家族や友達にあいさつをしたり、短い会話をしたりすることができる。 b) 家族や友達に「ありがとう」や「すみません」の気持ちを言うことができる。	「おはよう」「こんにちは」 「あついですね」 「じゃあ、また」 「すみません」等
2 課 自己紹介	a) 自分の名前や出身、仕事、家族について話すことができる。 b) 家族や友達の写真を見せながら、家族や友だちについて紹介することができる。	「私は(李)です」 「(中国)人です」 「家族は(4人)です」 「これは(私の父)です」等
3 課 私の国	a) 写真や地図を見せながら、自分の国や町、場所や有名なものについて話すことができる。 b) 写真や地図を見せながら、自分の国や町の様子を話したり、相手の質問に答えることができる。	「(ホーチミン)は(ベトナム)の(南)にあります」 「(バインミー)が有名です」 「(高い)(ビル)があります」等
4 課 買い物	a) スーパーやデパートなどで店員に欲しい商品があるかを尋ねることができる。 b) 郵便局で、いくらか、どのくらい日数がかかるかなどについて尋ねることができる。 c) 商品の表示を見て、商品の種類や賞味期限など必要な情報を理解することができる。	「(トマト)はありますか」 「(航空便)はいくらですか」 「(6日)かかります」 「賞味期限」「豚肉」「割引」 「無料」「お酒」等
5 課 生活	a) 自分の好きなことや、休みの日の過ごし方、普段の生活を話したり、尋ねたりすることができる。 b) 週末の予定や週末にしたことを話したり、尋ねたりすることができる。	「(読書)が好きです」 「よく(アニメ)を見ます」 「(スーパー)で買います」 「(昨日)(勉強)しました」等

文化庁『標準的なカリキュラム案』 「生活上の行為の分類一覧」 (p.120)

(凡例)

●: 来日間もない外国人にとって、基本的な生活基盤を形成するために不可欠であると考えられる生活上の小分類。又は安全にかかわり緊急性がある生活上の行為の小分類のいずれかに該当すると考えられるものとする。

大分類	中分類	小分類
I 健康・安全に暮らす	01 健康を保つ	(01) ● 医療機関で治療を受ける (02) ● 薬を利用する (03) ● 健康に気を付ける
	02 安全を守る	(04) ● 事故に備え、対応する (05) ● 災害に備え、対応する
II 住居を確保・維持する	03 住居を確保する	(06) ● 住居を確保する
	04 住環境を整える	(07) ● 住居を管理する
III 消費活動を行う	05 物品購入・サービスを利用する	(08) ● 物品購入・サービスを利用する
	06 お金を管理する	(09) ● 金融機関を利用する (10) ● 電車、バス、飛行機、船等を利用する
IV 目的地に移動する	07 公共交通機関を利用する	(11) ● タクシーを利用する (12) ● 徒歩で移動する
	08 自力で移動する	(13) ● 自転車を利用する (14) ● 車・オートバイ等を使用する
V 子育て・教育を行う	09 家庭及び地域で子育てをする	(15) ● 出産に備える (16) ● 出産し育児をする (17) ● 家庭で子供を育てる (18) ● 地域で子供を育てる
	10 子供に教育を受けさせる	(19) ● 幼稚園・保育所で教育・保育を受けさせる (20) ● 小・中・高等学校で教育を受けさせる (21) ● 特別支援教育を受けさせる
VI 働く	11 仕事を探す	(22) ● 就職活動をする (23) ● 労働条件について理解する
	12 仕事をする	(24) ● 職場の安全を確保する (25) ● 個別業務を遂行する (26) ● 協働業務を遂行する (27) ● 勤務評価に対応する
	13 仕事に役立つ能力を高める	(28) ● 職業能力の開発を行う (29) ● 事務機器等を利用する (30) ● 職場の人間関係を円滑化する
VII 人とかかわる	14 他者との関係を円滑にする	(31) ● 人と付き合う (32) ● 異文化を理解する
	15 地域・社会のルール・マナーを守る	(33) ● 住民としての手続きをする (34) ● 住民としてのマナーを守る
VIII 社会の一員となる	16 地域社会に参加する	(35) ● 地域社会に参加する
	17 社会制度を利用する	(36) ● 福祉等のサービスを利用する (37) ● 社会保険を利用する
IX 自身を豊かにする	18 人生設計をする	(38) ● 生活設計をする
	19 学習する	(39) ● 学習する (40) ● 学習を管理する (41) ● 学習方法を身に付ける (42) ● 日本語を学習する (43) ● 日本について理解する
	20 余暇を楽しむ	(44) ● 余暇を楽しむ (45) ● 郵便・宅配便を利用する
X 情報を収集・発信する	21 通信する	(46) ● インターネットを利用する (47) ● 電話・ファクシミリを利用する
	22 マスメディアを利用する	(48) ● マスメディア等を利用する

「生活Can do」について

生活Can do

「生活Can do」は、国内に在住する外国人（「生活者としての外国人」）が日常生活において、日本語で行うことが想定される言語活動を例示したもの。
 「日本語教育の参照枠」に示された分野別の言語能力記述文（Can do）の一つ。

対象となる範囲

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について（平成22年5月、文化審議会国語分科会）に示される「生活上の行為の事例」

生活上の行為の事例	I 健康・安全に暮らす	VI 働く
	II 住居を確保・維持する	VII 人とかかわる
	III 消費活動を行う	VIII 社会の一員となる
	IV 目的地に移動する	IX 自身を豊かにする
	V 子育て・教育を行う	X 情報を収集・発信する

レベル

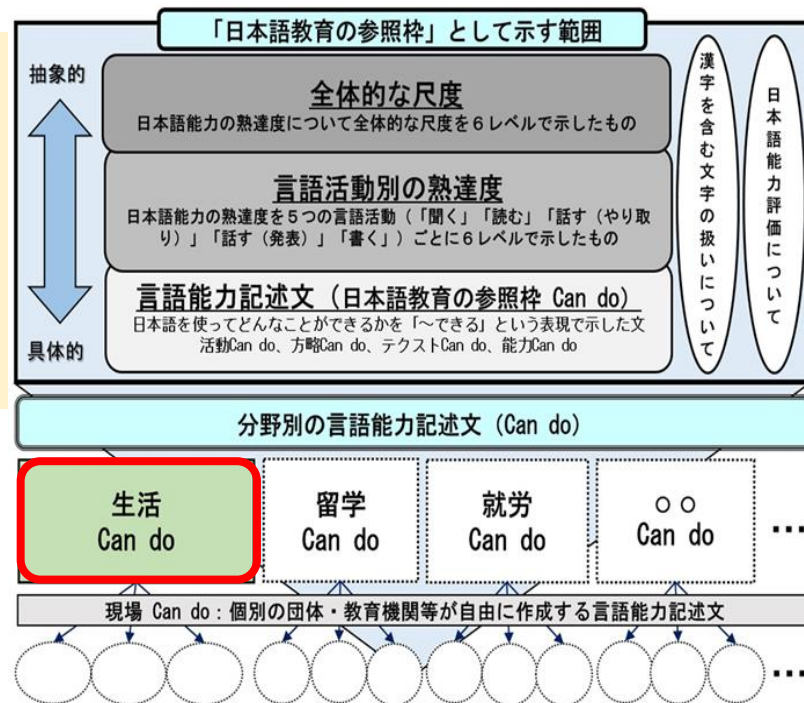
基礎段階の言語使用者（A1、A2）から自立した言語使用者（B1、一部B2）までを想定

言語活動

聞くこと、読むこと、やり取り、発表、書くこと

例

- <やり取り・A1> 店で買い物をするとき、買いたいものや個数を伝えることができる。【Ⅲ消費活動を行う】
- <読むこと・B1> 適切な医療機関を選ぶために、病院のサイトなどの、ある程度長い文章に目を通して、診療科目や診療内容など、必要な情報を探し出すために読むことができる。【Ⅰ健康・安全に暮らす】





●概要

国内外の日本語学習者を対象とし、ウェブ上のシステムで表示されるCan doがどの程度できるかを答えていくことで、日本語能力を簡易に判定し、その結果を日本語学習の目標設定に役立て、自律的な学習を促すことを目的とした自己評価ツール。

●内容

「日本語教育の参照枠」の6レベル（A1～C2）、5言語活動（聞く、読む、話す（やり取り・発表）、書く）で、レベルごとに示されるCan doについて、日本語学習者が、「1. できない」、「2. あまりできない」、「3. 難しいがなんとかできる」、「4. できる」の四段階で回答していくことで日本語能力の自己評価を行う。

●対応言語

日本語を含む全14言語に対応

中国語、英語、フィリピン語、インドネシア語、クメール語、韓国語、モンゴル語、ミャンマー語、ネパール語、ポルトガル語、スペイン語、タイ語、ベトナム語、日本語（ルビ付き）

(1) トップ画面

日本語能力自己評価ツール

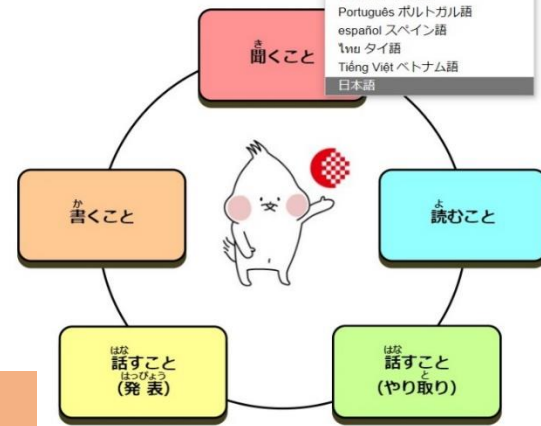
にほんご チェック！

いま、日本語でどんなことができるかチェックしてみよう

チェック！する前に

LANGUAGE

- 日本語
- 簡体字 中国語 (簡体字)
- English 英語
- Filipino フィリピン語
- Indonesia インドネシア語
- ខ្មែរ ក្រមួល 語
- 한국어 韓国語
- Монгол Монゴル語
- မြန်မာစာ ภาษามីญ ภาษามัน ภาษามัน
- नेपाली नेपाल語
- Português ポルトガル語
- español スペイン語
- ไทย 泰語
- Tiếng Việt ベトナム語
- 日本語



(2) 自己評価画面 (例)

はな と 話すこと (やり取り)

にほんご 日本語でできますか？

Can do	できる	難しいが、なんとかできる	あまりできない	できない
時々繰り返しや言い換えを求められることが許されるなら、自分に向けられた、身近な事柄について、はっきりとした、共通語での話はたいてい理解できる。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
興味のある話題の日常的なことから短い会話に参加できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
何をしたいか、どこへ行くのかを話して、会う約束をすることができます。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
日用品やサービスを求めたり、提供したりできる。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
娯楽や過去の活動について質問をし、答えることができる。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(3) 判定結果画面 (例)

はな と 話すこと (やり取り)

あなたの力はA2です。

A2レベルでは、こんなことができます。

たんじゅん にちじょう しごと なか じょうほう ちよくせつ
 単 純な日 常の仕事の中で、情 報の直 接のや
 と ひつよう みぢか わだい かつどう
 り取りが必 要ならば、身 近な話題や活 動につい
 はなしあ
 て話 合いができる。
 つうじょう かいわ つづ りかいりよく
 通 常は会話を続 けてい だけの理 解力はないの
 みぢか しゃごうてき と
 だが、短 い社 交的なや り取りをす ることはでき
 る。



「日本語教育の参照枠」の活用に向けた情報提供

1. 「日本語教育の参照枠」を活用した地域日本語教育の事例
2. **地域日本語教育における文字(漢字)指導**
3. 大規模試験に関する文化庁の方針

基礎漢字の目安とレベル・分野別漢字学習のイメージ

レベル尺度	分野																			
熟達した言語使用者	生活 様々な生活場面において必要となる漢字を選定					留学 進学・学術研究等の場面において必要となる漢字を選定					就労 様々な就労場面において必要となる漢字を選定					・・・ 海外等 その他の 分野				
自立した言語使用者																				
基礎段階の言語使用者	個々の学習者にとって必要な漢字を選定 (例. 本人や家族の氏名、住所や地名、所属など)																			
	基礎漢字	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	百	千	万	円	半				
		月	火	水	木	金	土	日	時	分	年	週	今	何	間	毎				
		行	食	見	会	話	来	書	出	入	買	休	思	聞	言	飲	使	教	作	
		読	持	動	切															
		人	学	生	私	子	先	友	名	母	父	女	男	手	口	体	目	足		
		大	中	前	上	新	強	好	高	明	下	後	長	小	外	楽				
		本	国	家	校	所	社	場	方	店	屋	山	道	駅	東	西	南	北		
		病	気	物	事	電	語	車	料	理	部	字	合	自	番	地	京	意	仕	
朝		業	度																	

※「日本語教育の参照枠」では、特に「基礎段階の言語使用者」について、分野を問わず、国内外全ての学習者に共通する基礎漢字122を目安として示した。このレベルでは、読みの正確さや書き方ではなく、意味の理解を優先することとした。また、漢字学習の際には、基礎漢字に加えて個々の学習者が各レベルの言語活動を達成する上で必要となる漢字を選定し、設定することが必要である。

（1）「日本語教育の参照枠」において漢字を含む文字を取り上げることについて

- 漢字を含む日本語の文字には、学習者のレベルや置かれた状況によって、
 - ・ 見て意味が分かればよいもの
 - ・ 意味と読み方が分かればよいもの
 - ・ 書けるようになることが望まれるもの

に分けられる。日本語教師は、学習者のレベルや必要な言語活動、言語使用場面などによって、**学習者に必要な漢字を含む文字を選定し指導していく必要がある。**

（2）「日本語教育の参照枠」における文字の扱いについて

- 日本語学習者を社会的存在として捉えるという「日本語教育の参照枠」の理念から考えると、生活・留学・就労などの分野や学習者が置かれた状況や年齢、生活様式等によって必要な漢字や語彙は異なることから、**レベルごとの単漢字数や熟語数を一律に定め、示すことは難しい。**

（3）「基礎漢字」の選定について

- 基礎漢字の検討に当たっては、**日本語教育の主教材や漢字指導教材等から抽出した基礎漢字調査を材料として、特に「基礎段階の言語使用者」であるA2までの基礎漢字の目安を示すこととする。**

「日本語教育の参照枠」の活用に向けた情報提供

1. 「日本語教育の参照枠」を活用した地域日本語教育の事例
2. 地域日本語教育における文字(漢字)指導
3. **大規模試験に関する文化庁の方針**

「日本語教育の参照枠」における言語教育観に基づく評価の理念

- ① 生涯にわたる自律的な学習の促進
- ② 学習の目的に応じた多様な評価手法の提示と活用促進
- ③ 評価基準と評価手法の透明性の確保

- ・ 「日本語教育の参照枠」における日本語能力観と評価の考え方（事例）
- ・ 日本語能力の判定試験と「日本語教育の参照枠」の対応関係を示す方法
- ・ 社会的ニーズに応える適切な日本語能力判定の在り方について

（１）日本語能力の判定試験等と「日本語教育の参照枠」の対応関係を示すことの意味

- 現在、国内外で実施されている日本語能力の判定試験及び評価は、各試験及び評価の目的に応じて、得点の解釈基準やレベル設定、レベル判定基準等が定められている。これらの試験及び評価が「日本語教育の参照枠」との対応付けを行うことにより、試験利用者が日本語能力に関する測定結果を相互に参照できる枠組みが構築され、異なる試験・評価間の通用性が高まることが期待される。
- また、共通の指標での日本語能力判定に関する評価が得られることにより、受験者はどの試験を受験しても、熟達度のレベルについて、個別の試験の独自性や特質を勘案した上で、測定結果を相互に参照できる枠組みに基づいた教育的なフィードバックを得ることができる。

（２）日本語能力の判定試験等と「日本語教育の参照枠」の対応付けの手続き

- Council of Europe (2009、2011)では、CEFRの尺度への対応付けのために次の五つの手順を示している。「日本語教育の参照枠」においても、これらの手順を参照することとし、本報告では、この手続きに沿った対応付けの方法を以下に示す。
- 以下の対応付けの手続きは、Council of Europe (2009、2011)が示したものであり、「日本語教育の参照枠」に対応付ける場合にも重要な手続きとなるが、これをひな形としつつも試験の開発実施機関が独自の方法を工夫し実行することを妨げるものではない。なお、その場合、どのような手順を実行したかについて、その結果とともに公表することが必要である。

御清聴ありがとうございました



Japanese Language Education

令和6年2月

文化庁国語課